

2006 年 9 月 5 日

厚生労働大臣
川 崎 二 郎 様

衆議院議員 阿 部 知 子

MMR（新 3 種混合ワクチン）について（質問）

標記の件、下記の通りお尋ねしますので、ご回答よろしくお願いいたします。なお回答は来る 7 日午後 3 時半よりの席上いただくことができれば最良ですが、後日でも結構ですの
でよろしくお願いいたします。

記

1. 1993 年 4 月の日本感染症学会においてはじめて報告された、MMR 統一株ワクチン接種による姉妹へのおたふくかぜ 2 次感染〔1991（平成 3）年 2 月から 3 月にかけて北海道で発生した〕について、それに関して最初に厚生省に報告されたのはいつか。
2. 生ワクチン接種において発生した上記のような 2 次感染は、その生ワクチンの評価においていかなる意味をもつものであり、その事実が判明した場合国はいかなる対応をする必要があるか。法定接種の場合と任意接種の場合とに分けて回答のこと。
3. 阪大微研会製おたふくかぜワクチン、または同会製 MMR ワクチンについて、治験段階または市販後におたふくかぜの 2 次感染の事実、または疑い例があったか否か。
4. 上記の MMR 統一株 2 次感染例の事実がなかった場合、1993 年 4 月 26 日から 27 日にかけて決定された「当面接種見合わせ」がありえたか否か。
5. 1989 年に完成されたおたふくかぜ、MMR ワクチンのウラベ株と野生株鑑別のための PCR 法またはその他の方法の開発研究（当時の国立予防衛生研究所ムンプス室長山田章雄氏らによる）に着手するのはいつのことか。また、その動機は何か。文献だけではなく山田章雄氏らに対する聞き取りも含めて回答のこと。
6. MMR ワクチンの治験段階で発生し、野生株によると判断された無菌性髄膜炎症例が PCR 法によりワクチン株によると判定されたのはいつのことか。旧厚生省文書（1989 年 12 月生物製剤調査会資料など）のみならず旧予研の資料も精査の上回答のこと。
7. MR2 種混合ワクチンより先に化血研から提出された MMR ワクチン輸入承認申請の審査状況はいかがか。
8. MR2 種混合ワクチンの承認は、1 回接種のデータで行われた。市販後は 2 回接種が行われることとなっているが適正使用といえるか否か。

以上